

富士宮市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2025

令和7年4月

1 目標

富士宮市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施済者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般住民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。このため、富士宮市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、社会資本整備計画「富士宮市における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上(防災・安全)」に基づき策定する。

3 取組内容・目標・実績

	令和7年度取組内容	令和7年度目標
計画	【財政的支援】 i) 住宅の耐震診断費に対する補助を無料で実施。 ii) 住宅の耐震改修費に対する補助を実施。 【普及啓発等】 i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・令和6年度に行ったDM発送の回答を基に、戸別訪問し啓発を図る。 ii) 耐震診断実施済者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時にリーフレットの配布・説明等により耐震改修を促進。 iii) 改修事業者の技術力向上等 ・改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を年1回以上実施（県と連携実施） ・（改修事業者団体等により）耐震改修事業者リストを作成し公表等を実施（県と連携実施） iv) 一般への周知普及 ・耐震改修の必要性の周知を実施 ・市の広報誌による制度の周知を実施 ・リーフレットにより制度概要等の周知を実施（県と連携実施）	・住宅に対する耐震診断費補助戸数：10戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数：55戸 ・住宅に対する建替・除却費補助戸数：12戸
		前年度までの実績 令和6年度 ・住宅に対する耐震診断費補助戸数：186戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数：36戸 ・住宅に対する戸別訪問数：1,157戸 ・住宅に対するDM送付戸数：3,500戸 令和5年度 ・住宅に対する耐震診断費補助戸数：87戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数：21戸 ・住宅に対する戸別訪問数：1,509戸 ・住宅に対するDM送付戸数：1,110戸 令和4年度 ・住宅に対する耐震診断費補助戸数：52戸 ・住宅に対する耐震改修工事費補助戸数：23戸 ・住宅に対する戸別訪問数：1,512戸 ・住宅に対するDM送付戸数：1,031戸
自己評価	令和7年度の取組実績 【財政的支援】 ・住宅の診断18件、改修53件に補助を実施 【普及啓発等】 i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・市内の住宅に対して69件の個別訪問を実施 ii) 耐震診断実施済者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時にリーフレットの配布・説明等を実施 iii) 改修事業者の技術力向上等 ・県の委託事業で講習会を実施（県と連携実施） iv) 一般への周知普及 ・市広報誌に事業案内を掲載し、周知・啓発を実施	令和8年度の課題 ・変更する事業や拡充する事業について整理し、今後も耐震化率の向上に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要がある。 改善策 ・防災イベント等における自治会と連携した普及啓発や、補助制度の概要パンフレットのデザイン見直しなど、引き続き、各種補助制度を積極的にPRする。